

活動分野: 国際協力

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>奈良県ユニセフ協会</p> <p>2001年1月21日</p> <p>活動者の受け入れする〔特別な制約や条件はなし〕</p>	<p>月平均 16 回</p> <p>108 名</p>	<p>ユニセフ(国連児童基金)が行っている「世界の子どもたちの命と健康を守るための活動」への協力と支援を通じて、奈良におけるユニセフの役割の一端を担い、活動が一層発展し国際協力の輪が大きく広がっていくことを目的とする。</p>	<p>日本ユニセフ協会と協力協定を締結し、奈良県におけるユニセフの代理者として、街頭募金等によって民間からユニセフ募金を集める募金活動や世界の子どもたちの現状やユニセフ活動について理解を深める広報活動に取り組んでいる。</p> <p>1.募金活動(街頭募金やハンドインハンド募金、チャリティハイキングなど)</p> <p>2.啓発活動(学習会講師派遣、講演会、パネル展、機関誌発行など)</p>
<p>(特非)国際交流ならふれあいの会</p> <p>2001年4月1日</p> <p>活動者の受け入れする</p>	<p>月平均 回</p> <p>〔8 回程度/年〕</p> <p>11 名</p>	<p>一般市民に対して、奈良を訪れる外国人向けホームステイの受け入れや青少年の育成・夢支援事業、国際理解・協力・交流に関する事業を行い、社会・地域連携の国際交流の促進と共に国際感覚を養い、日本文化の再認識や知的好奇心の向上に寄与すること。</p>	<p>以下の三つを活動の柱とする。</p> <p>①奈良を訪れる外国人へのホストファミリーの提供事業</p> <p>②サマーキャンプ、海外スタディツアーの企画・主催事業</p> <p>③国際理解に関するセミナーや料理教室などの企画・主催事業</p>
<p>奈良中国帰国者支援交流会</p> <p>2003年6月7日</p> <p>活動者の受け入れする</p>	<p>月平均 4 回</p> <p>〔年間 40 回〕</p> <p>20 名</p>	<p>当交流会は”中国残留等のための日本語教室開催事業委託”を受け中国残留等向けに日本語及び日本の生活習慣や文化を学べる場としての学習、教材を提供。</p> <p>日本の文化、伝統を学習するとともに、他の中国残留等や地域社会との交流を深めることを目的としている。</p>	<p>(本年度はコロナ禍のため教室外活動はほとんどなし)</p> <p>・帰国者が日本で生活するうえで必要な話す・聞く・書く等の日本語教室を開催する。</p> <p>・習字・唱歌・ニュース・日本の食文化・日本の行事等を学ぶ日本文化学習会を開催する。</p> <p>・帰国者自ら、中国文化・水餃子・踊り・楽器演奏等で様々なイベントに参加し近隣住民との交流を図る。</p> <p>・帰国者の高齢化に配慮したおしゃべりサロンを開催する。</p>

活動分野: 国際協力

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>フォーリーフ</p> <p>2005年1月</p> <p>活動者の受け入れ しない</p>	<p>月平均1回</p> <p>2名</p>	<p>会員相互の協力のもと、使用済み切手等の仕分け整理作業とコミュニケーションを楽しみ、尚且つ小さな社会貢献に繋がることを願っている。</p>	<p>・ボランティアセンターに来られる方々、市役所等組織や個人の方から協力頂いた使用済み切手等を仕分け整理し、年に数回、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)へ送付している。</p> <p>・JOCSで再度仕分け整理され、コレクターの方に買い取ってもらった資金で海外医療に役立てられている。</p> <p>・「捨てればゴミ」が、「切手の整理」に切っ て送れば「お金」となり、切手1枚からの国際協力となり、続けることが大切と思っている。</p> <p>※「切手の整理」: 別称</p>